

学習指導案 略案様式（自立活動）

通級指導(△年1組)		指導者	〇〇 〇〇	通級指導教室用
題材	題材名等	顔の表情や仕草の絵カードを作って自分の気持ちを伝えよう。		
	関連する自立活動の内容	区分	内容	
		心理的な安定	(2) 状況の理解と変化への対応に関すること	
		人間関係の形成	(3) 自己の理解と行動に調整に関すること	
		コミュニケーション	(4) コミュニケーション手段の選択と活用に関すること	
題材目標	顔の表情や仕草などの絵カードを使って、自分の気持ちを伝えることができる。			
主な学習活動と指導上の工夫	●作った絵カードを使って気持ちを伝えるためのロールプレイングをする。 ○絵を描くことが好き(得意)な面を活かして顔の表情や仕草等のイラストを自分で描き、気持ちを伝えるための絵カードを作る。			
本時(4/全10時間)	ねらい	3枚の絵カードをつくり、どんな気持ちのときに使えばよいか知ることができる。		
	学習過程	「めあて」 「気持ちを伝えるための絵カード(『困っている』『たすけて』『うれしい』)を3枚つくろう。」		
		「振り返り」の視点 ・今日の学習の続きとしてやってみたいこと		
		指導・支援と留意点	●学習活動 ○支援	
	●見本のイラストから『困っている』『たすけて』『うれしい』の3つの表情や仕草を表すイラストを選ぶ。		〔曲〕「ラーメン体操」 ・表情/動作のイラスト集 ・表情などを撮影 ・見本のイラスト ・描画のセット	
○「こまっている」ときの顔はどれかな?などと問いかけ、提示した3枚のイラストから選ぶようにする。				
○イラストを選んだら、その表情や仕草を実際にしてみるなどして、気持ちとイラストを関連付ける。				
●本時に作成した3枚の絵カードを「どんなときに使う」かを確認をする。				
○状況を表す簡単な文(話し)とイラストを示し、気持ちを伝えるにはどの絵カードを使うと良いか問い、適切な絵カードが選ばたら気持ちが伝わることを認めて、絵カードを使う良さを意味づける。				